

西条市

鉄道歴史パーク in SAIJO



四国鉄道文化館内部

平成19年11月26日、JR伊予西条駅のすぐ隣に、西条市の新しい観光・交流エリアが誕生しました。「四国鉄道文化館」、「十河信二記念館」、「観光交流センター」の3つの施設がそろっています。中心となる四国鉄道文化館は、「団子鼻」が人気だった初代新幹線「0系」と、1957年製の「DF50形電気式ディーゼル機関車」の車両の展示が目玉。

展示の新幹線は運転席や客席にも座れます。四国新幹線が実現した気分を味わってはいかがでしょうか。

なお、「四国鉄道文化館」については、本誌P20の「MY TOWN うおっちゃんぐ」で詳しく紹介しています。

鉄道文化館のみ入館料が必要で、一般が300円、小中学生が100円。開館時間は3館とも午前8時～午後7時、水曜は休館（観光交流センターは無休）。

お問い合わせは、観光交流センター（0897・47・3575）。



新幹線「0系」運転席

■四国鉄道文化館

四国初の鉄道博物館。展示の目玉は、新幹線電車の初代タイプ「0系」の先頭部分と、1957年製の「DF50形電気式ディーゼル機関車」の1号機（準鉄道記念物）。どちらも日本鉄道史に燦然と輝く名車です。昔懐かしい鉄道グッズも展示しています。



観光交流センター内部

■十河信二記念館

旧西条市長で第四代国鉄総裁も務め、一大プロジェクトであった新幹線の建設に取組み、「新幹線生みの親」と言われる故十河信二氏の功績をはじめ、氏の遺品や人間的な魅力も紹介しています。

■観光交流センター

西条市の観光情報発信拠点や案内窓口として整備した施設で、西日本最高峰の「石鎚山」、名水百選に選定されている自噴水「うちぬき」、豪華絢爛な西条祭りの「だんじり」などを紹介しています。

【編集後記】

日本の各地で、高齢化が急速に進んでいる。実はその裏側には少子化があり、根底に若者の結婚問題があつて、それが子どもの減少につながっている。

'07年版少子化社会白書によれば、未婚者の9割は結婚を望み、平均2人以上の子どもの希望している。また、厚生労働省が公表した「21世紀成年者縦断調査」では、正規雇用の男性の結婚率は、アルバイトなど非正規雇用の男性に比べ2.4倍に上り、雇用形態で差が生じていることや、夫の育児参加や、職場に育児休業制度がある夫婦ほど子どもが生まれていることも判明した。

結婚や出産は、一人ひとりの選択。国も自治体も借金苦の中で、お金をどうひねり出し、各層の意識改革を促すか。知恵と工夫の見せどころである。仕事上の立場、ご自身の問題として、少子化を考えていただきたい。（小方）

内容についてのご意見や、まちづくり活動のトピックなどありましたら、お気軽に『舞たうん』編集係までお寄せください。
〒790100003

松山市三番町四丁目十番地一
愛媛県三番町ビル二階
（財）えひめ地域政策研究センター

まちづくり活動部門
TEL089(932)7750
FAX089(932)7760
発行/平成二十年一月一日

（財）えひめ地域政策

研究センター

印刷/岡田印刷株式会社